

第一回審議会での議論について

前回の審議会でいただいたご意見、議論のうち、追加で説明が必要なもの等について整理します。

（1）2割削減の進捗率について

2割削減の進捗率はどの程度か。

→次回、資料をそろえて進捗率について、説明いたします。

（2）個別施設の「今後10年間の方向性」について

各施設の今後10年間の方向性の表の年限については残してはどうか。

→建設年度からの経過年数で改修の周期は決まっており、必要ないと判断しましたが、視覚的にわかりやすい部分もあり参考資料等で残す方向で検討します。

（3）修繕の手法について

適切な修繕箇所の特定、修繕方法の選定、そしてしっかりと見識及び技術を有している業者選定が重要である。

修繕方法等について、附帯事項をどれだけ付けられるかが肝要。

今後維持管理する際に本当に必要な箇所を、安全を確保するためにするのか、見た目まで綺麗にやるのかで金額的に大きく違ってくる。安全性だけ保とうとすれば、ひび割れたところ、浮いているところだけ補修していくので、見た目は継ぎ接ぎとなる。しかし見た目までやるとしたら安全性に影響の無いところまでやり変えなくてはいけないので、コストが一気に跳ね上がる。そこは検討した方がよい。

→重要施設や教育施設については、専門家による調査を基に作成された改修方法や改修時期に関する個別計画があり、その計画に基づき各所管課が補修や改修方法等について方針を検討するところでありますが、頂いたご意見については、費用対効果に対する重要なご意見であると考えます。

（4）方針が大きく変更された施設について

前回、令和4年の計画から今回の改訂に至るこの数年間の中で、市の方針が大きく変更したという認識である。例えば、市民体育館の取り扱いが変わっている。そういう市の方針変更について、個別に説明がほしい。

→次回の審議会において施設所管課より説明いたします。

（5）防災の視点について

大型台風などが発生した際、市内の公共施設が避難所として開設されるが、最近発生した大雨災害など、予想ができないような形の自然災害が頻繁に起きてきている。公共施設だけで考えるのは難しいのかもしれないが、公共施設に期待する避難所としての役割を踏まえた上で、改修や保守についてどう考えるのか、何かしらの形で文言として計画に入れるべきである。

サンコスモは国道3号線よりも低い位置あり、水に浸かる。今度は水害に対しての備えについても考えなければならないのではないか。

前回の審議会では、耐震性がその当時問題になっていたこともあり、委員の関心が高かった。近年はこれだけ災害が起こっているので、「防災」という視点が新たに出てきて、「耐震+防災」となってくると考える。耐震については全施設耐震対応済ということになっているのでこれはもう目的を達成している。今度は防災という項目を新たに設けるのか、そこを考慮すべきという文言を附帯として入れるのか。この辺が一つのポイントだと思っている。

→近年、高温や大雨等の異常気象が頻発しており、公共施設に関する「防災の視点」も必要となっており、重要なご意見であると考えます。